

答2 第7期介護保険事業計画のために介護予防日常生活圏域ニーズ調査ということでアンケート調査を行っている。その中で、「大変苦しい」という方が、5.5%、「やや苦しい」という方が、17.1%という結果であった。このことに関し、公民館の役員、民生委員による日頃の見守り、介護相談員や聴きミミ隊による訪問活動を充実させ相談や情報収集体制がとられている。

問3 介護保険事業計画の策定に当たって実施アンケート調査によると、回答があった850人の高齢者のうち、5.5%の方が「生活が大変苦しい」、17%の方が「やや苦しい」と答えている。

このことは本人の責任というだけでは片付けられない問題、重ねて生活保護制度についての正しい理解と周知に取り組むべきだと考えるが。

答3 村民それぞれの生活状況を調査把握することは厳しい状況にある。

民生委員や聴きミミ隊、介護保険相談員の方々に調査、訪問をしていただいていることから、その部分を充実しながら体制づくりをしていく。

